

動き出す、あなたの想いをお結びする市民活動情報誌

おむすび たかしま



33

2016
AUTUMN

たかしま市民活動フェスタ ～スイッチオン！おしえて・つなげて・あなたのチカラ～

11月12日(土)10時オープン！ 今津東コミュニティセンターに集合！

たかしま市民活動フェスタ2016は、市内の市民活動団体やボランティアグループ約40団体が集まり、活動を知ってもらおう体験、ピザやカラアゲなど特技を活かした販売、絵本の朗読、オカリナの演奏、映画の上映など、それぞれが工夫を凝らして活動をアピールします。

実行委員会で決めた今年のテーマ「スイッチオン！おしえて・つなげて・あなたのチカラ」は、普段からお互い

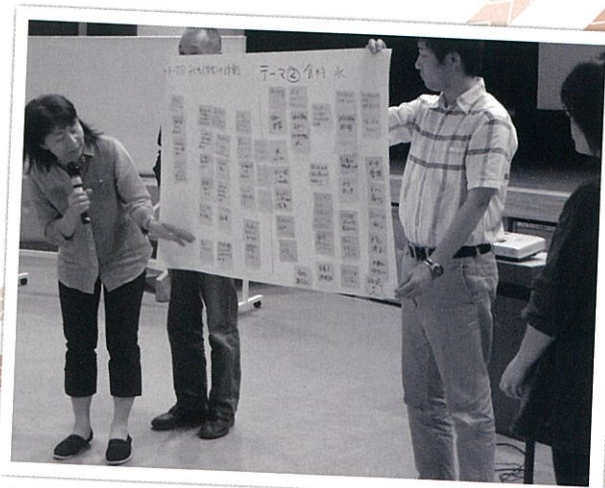
に団体やグループが持つ力や特技を教えあい、災害時や避難所運営などの「いざという時」に「スイッチオン！」で互いのチカラを発揮したいという思いが込められています。来場の方々に「も市民活動へ「スイッチオン！」していただきたいと思っています。

6月13日は参加団体同士が出会う場「つながりカフェ」を開催し、避難所で考えなくてはならない、「食料」「トイレ」「水」「子どもたち」「高齢者」「障がいのある方」「メンタルケア」などテーマを選んで、4～5団体が一緒に何ができるのかを考えました。

11月12日のフェスタでは、子どももおとなも楽しみながら、参加団体の方々と交流し、活動のテーマなどキーワードを集めるゲームも準備しています。ご家族、お友達、ご近所、みんなでお誘いあわせてご来場ください！



「つながりカフェ」ワークショップ



「つながりカフェ」発表会

いろいろ
たかしま
やっつけてます

『小さなつどいの場をつくる！』

～地域の未来を見据えて～



新旭住民福祉協議会

代表 藤原 実
設立 平成 22 年 (2010 年)
連絡先 高島市勝野 215
高島市社会福祉協議会
(担当: 西川)
TEL 0740-36-8220



「小さな活動の立ち上げや運営を支援し、ネットワーク化することですごく強力な新旭になる。その活動をどうつなげるかが大事」だと話す藤原さんの地域を想う情熱に触れる取材となりました。

毎月最終土曜日、新旭エスパ内の「まちの縁側」で、地域の困り事とボランティアをつなぐ「地区ボランティアセンター」を運営している【新旭住民福祉協議会】代表の藤原実さんにお話を伺いました。

メンバーは15名。新旭地域の第2次住民福祉活動計画で掲げた「みんなが福祉でつながる地域づくり」を理念に、上記の活動のほか、地域住民に活動を伝える機関誌「たいようの発行(3回/年)」と、住民がつながる場として「新旭ふくしまつり」の開催(毎年9月下旬)という3つの通年事業を大切に活動しておられます。毎月第二火曜日の定例会では「つどいの場をつくろう!」ということで、今年特に、小規模で誰もが集えるような場づくりを支援したいと話しておられました。他にも『ボランティアの集い』や『住民福祉懇談会』等に積極的に参加し、活動の輪を広げておられます。

住民福祉協議会とは? 住民福祉活動計画ってなあに?

住民福祉協議会は、旧町村単位で組織された住民による住民のための協議会。地域のことを多様な分野や立場の人が集まって話し合う、オープンで出入り自由な場です。平成 26 年度には1年間かけて、地域の身近な課題について話し合い、住民主体で取り組める活動をまとめた「第2次住民福祉活動計画」が策定されました。

たかしま市民協働交流センターでは市民活動に関して、様々な疑問、相談をお受けしています。ここでは、お寄せいただいた疑問にお答えしていきたいと思えます。



Q 地域の会議などで参加者の意見をうまく引き出すことができません。どうしたら会議に積極的に参加し、活発に発言してもらえるのでしょうか?

A 会議などで、参加者の気持ちを高め、安心して発言できる雰囲気をつくり、参加者とともに会議のゴールに向かう役割の人をファシリテーター(進行役)と言います。外部の人にファシリテーターを依頼することもできますし、メンバーでファシリテーターを順番にするのもいい経験になります。会議の雰囲気づくりでは、少人数でグループにしたり、机を無くして椅子だけで輪にする工夫も大事です。ホワイトボードを活用して、タイムスケジュールや発言を書きおき、参加者が進行を確認しながら進めるのも効果的です。その他にもファシリテーターは以下の工夫をします。

1. 話を深める質問 (発言内容をより具体的に考えるために「もう少し詳しく教えて」と尋ねます)
2. 場や参加者の雰囲気を分析 (発言しにくい雰囲気の場合は、4~5人のグループやペアで意見を出し合います)
3. ゴールの共有とふりかえり (会議のゴールを参加者に説明します。また最後に決まったことや検討したことをふりかえる時間をもちます)

たかしま市民協働交流センターでは、会議の進め方についてのご相談にも対応しています。

〈参考図書〉「元気になる会議 ホワイトボード・ミーティングのすすめ方」「ファシリテーターになろう!」(ちよんせいこ著)

◎市民活動についての疑問、相談などお寄せください!

いろいろ
やって
ます

『ニホンリスの住むびわ湖水源の森と』

ふれあいながら楽しく活動しよう!』



びわ湖りす森倶楽部

会 長 金子 晃
 設 立 平成 22 年 (2010 年)
 会員数 約 40 名
 連絡先 大津市千石台 10-10
 TEL 080-1467-0419

「豊かな森とアカマツ林を好む日本の固有種ニホンリスの観察を友人たちとはじめたことで、マツ枯れ等の森林病害虫について知ったことが活動のきっかけです。ここはニホンリスが観察出来る貴重な地域なんですよ。」そう話してくださったのは、地域と森の再生を目的に、平成22年11月に設立された【びわ湖りす森倶楽部】代表の金子晃さんと弥枝子さん。主な活動は、夏と冬をのぞく第4日曜日の定例会(6回/年)や森を楽しみながら学ぶイベントの企画運営、会報誌の発行(6回/年)など。今津町下弘部で行うアカマツの苗畑づくりでは福祉施設との連携もはじまり、障がい者の社会参加のきっかけづくりとして苗の水やりを手伝ってもらったりなど、活動の輪がどんどん広がっています。

取材で訪れた「夏の夜の昆虫観察会」は、滋賀虫の会を講師に迎え、グリーンパーク想い出の森で実施。定員を大きく上回る親子連れが参加しておられその人気ぶりに驚かされました。

「こんなに楽しいのだから、たくさんの人に体験してもらいたい」という弥枝子さん。皆さんもぜひ、イベントに参加してみてください!

高島の元気企業

淡海酢有限公司

〒520-1121 滋賀県高島市勝野 1403
 TEL 0740-36-0018 FAX 0740-36-1968
 HP <http://www.tankaisu.co.jp/>

高島の素材を活かした、もつとおいしい酢を海外へ

淡海酢有限公司 代表 福井順一さん



創業は江戸時代に遡る、滋賀県で唯一の酢醸造場の淡海酢有限公司。3代目の福井順一さんは、家業を継ぐべく東京農業大学醸造科学科で学び、45年間、酢醸造一筋で来られました。

酢は、発酵アルコールに種酢を入れ、米や穀物を加え、約1〜2ヶ月かけて自然な酢酸菌の働きを進める静置発酵後、タンクに移し1〜2年熟成させて販売されます。時間をかけることで、旨味成分が増し、風味豊かな酢になるそうです。そんな従来の酢づくりを受け継ぐ中、知り合った京都大学の学生の「もつとおいしい酢を作ってほしい」という声を受け、古文書をヒントに江戸時代の酢づくりを再現。当時と同じく酸敗酒を原料に、酒かす、甘酒を加え静置発酵し、1〜2年の熟成期間を経た「淡海昔(おうみせき)」は、約10年の研究を重ねてできました。

さらに特徴ある酢づくりのため、一から地元のもので作りたいと、酒母もろみ製造免許を取り、高島の米から酒を作り、その酒から酢を作っておられます。原料は無農薬の「生きもの田んぼ米」。最近市内の有機JAS認証の米も使用しています。「有機JAS認証の酢を作り、アジアへ輸出したい。海外では日本の本場に良いものが求められています。」と福井さんの視線は海外へも向けられています。アドベリー酢、柿酢などフルーツビネガールの素材は高島にたくさんあります。「農家の方には無農薬栽培や有機JAS認証にチャレンジしてほしい。高島の材料で安心安全な酢を作りたい。」と農家への熱い視線と期待も注がれています。

INFORMATION

手に取りたくなる！

チラシの作り方講座（2回連続講座）

思わず目について、手に取りたくなるチラシを作ってみたい！と思いませんか？情報誌や会社パンフレットなどの企画編集をしておられるプロに、チラシの作り方を学びます。お気軽にご参加ください！

日時：第1回 10月6日(木)、第2回 10月13日(木)
両日とも 19:30～21:30

会場：安曇川公民館（高島市安曇川町田中89）

対象：市民活動団体、ボランティアグループ、
区・自治会でチラシ作りをする機会のある方、
関心のある市民

受講料：一般500円/回（2回参加800円）
会員400円/回（2回参加700円）

会員は「たかしま市民協働交流センター協議会会員」です。
当日ご入会も可能です。

【年会費】正会員 2,000円 賛助会員 1,000円

◎お問い合わせは、たかしま市民協働交流センターまで。

今津東コミセンからのお知らせ

今津東コミュニティセンターの1階ホール展示会のお知らせです。ご来場お待ちしております。

10月1日～10月14日 第12回 彩友 水彩画展

10月15日～10月25日「日独障がいのあるアーティストたちの
交流展」ドイツからの作品を迎えて

10月27日～10月30日 レイカディア大学同窓会高島支部 作品展

11月21日～11月27日 MOA美術館高島児童作品展

12月10日～12月13日 高島高校茶華道部 生け花展

1月12日～1月15日 アンフィニ 生け花展

1月21日～2月4日 湖西フォトクラブ 写真展

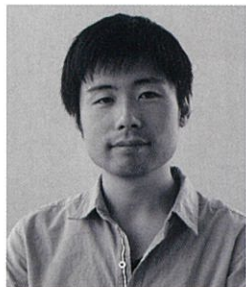
2月26日～3月9日 押し花作品展 心に語りかけるお花の優しさ

3月11日～3月12日 第31回 春蘭展

上記以外にも常設展示、短期の展示会などもあります。
展示ホールについてのお問い合わせは、下記まで。

お問い合わせ先：今津東コミュニティセンター
TEL：0740-22-3222
FAX：0740-20-5757

新スタッフの紹介



みなさま、はじめまして！

9月から当センターで頑張っています。三上和之です！こちらの様々な取り組みや活動は、以前から楽しくボランティアで関わらせていただけていました！普段も、自然の中で自給した暮らしを提案するFEC 自給圏ネットワークという市民活動団体や、高島の若者が高島の若者を盛り上げて行こう！というイベント「sense it!!」で活動を楽しんでいます。

以前の介護の仕事から全く違う仕事に変わり、まだまだ右も左もわからないことだらけですが、新しい世界を楽しんでいけたらと思います。どうぞよろしくをお願いします！

退職のご挨拶・原田 将

2013年4月より3年半の間、たかしま市民協働交流センターのスタッフとして、中間支援という地域社会を下支えする非常に重要な仕事に携わらせていただき、本当にありがとうございました。

また在職中は、様々な場面において親身のご温情に欲しかったこと、改めてお礼申し上げます。多様な「熱い想い」に突き動かされる市民活動団体の皆さまの活動が、これからも未永く、高島市の元気を牽引していくことを心から、応援致しております。

僕自身も新天地で、より良い未来と生きる楽しみを、子どもたちに手渡せるように、精進していきたくと思いますので、今後とも、変わらぬご交誼をお願いいたしますとともに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、略儀ながら、お礼と退職のご挨拶とさせていただきます。

広告欄

2016 高島ロングライド100 水と緑の西近江

2016 10/22 土

高島の特産品試食PRブース
バナナ・ドリンク・おにぎり・パン
栄養補給ゼリー等無料提供

メイン会場 高島市今津総合運動公園 (スタート/フィニッシュ)

エイトステーション

※広告（横10cm×縦4.5cm）を募集しています。お問い合わせは右記までお願いします。

発行：たかしま市民協働交流センター

〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼1-4-1

（今津東コミュニティセンター内）

業務時間 月～金曜日（祝日を除く）9～17時

TEL 0740-20-5758 FAX 0740-20-5757

E-mail webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp

HP <http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

BLOG <http://tkkc.shiga-saku.net/>

◎ Facebook、twitter やってます！

編集後記

社会の変化は誰にもコントロールできないから、自分自身を変えていくことで、適応させていくことも大事だなあと感じます。しかし、どんな人の中にも、「変えられないもの」「変わらないもの」があるのかも知れません。「変わりゆくもの」の中で、「変わり続けること」、「変わらないでいること」を、突き詰めて考えて、言語化し、整理することで見えてくるものが、「自分らしさ」なのだと思う今日この頃です。(H)